公益財団法人 星総合病院

懸虹（けんこう）

平成30年10月 No.297

特　集

ポラリス保健看護学院
学生時代から生きた「チーム医療」を学ぶ

- 感謝状をいただきました
- ホームページリニューアル
- 三春病院医療機器リニューアル報告
- 緩和ケア通信　第2号
- 夏休み体験レポート
- 連携医のご紹介

無機と有機Ａ（F50、1994）
星　一雄

ショートステイをご利用いただいている、ある元気な患者さんとの思い出です。

この方が星総合病院に入院されている時に初めてお目にかかりました。患者さん・ご家族、病院スタッフからの情報収集のあと、オリオンでの判定会議を経て入所して頂きました。二ヶ月間の入所中、リハビリに励むお姿や退所前のスタッフが同席しての自宅訪問での嬉しそうな笑顔が忘れられません。今はショートステイなどを利用されながら、ご家族と過ごされています。

介護老人保健施設は、病院と家庭・地域との「中間施設」です。地域包括ケアシステム構築に欠かせない役割を担っており、オリオンでは今春より「在宅強化型」に移行しました。

より多くの在宅復帰を支援するため、開かれた施設として地域の関係者の方々とより積極的に連携していきたいと考えております。また、看取りについても、生活の延長線上にあると捉え、穏やかでその方らしい最期を迎えられるように援助したいと思います。

オリオンが地域の方々にとって、利用しやすい存在であり続けられるように努力して参ります。

介護老人保健施設オリオン
統括管理者補佐　伊藤八重子

＜醫靈＞靈をも醫（癒）やしたい――という創始者の願いを医療従事者の医の心とすべく造られた当法人の理念

学生時代から生きた「チーム医療」を学ぶ

平成30年9月8日開催
学院創立40周年を記念した
北極祭ポスター

【学院の歴史】

昭和35年　准看護婦養成所開設
昭和45年　准看護婦養成所閉鎖
昭和52年　高等看護学院開設（看護師養成３年課程）
平成10年　ポラリス保健看護学院
（保健師看護師統合カリキュラム４年課程）
平成25年　新校舎移転

450名の来場者とつながりました！ありがとうございます。

地域・社会から求められる「医療人の育成」に力を注いでいます。

旧校舎（富久山町）

平成25年完成の現校舎（向河原町）

【教育理念】「荒海孤舟北極星（コウカイ コ シュウホッキョクセイ）」

「荒海に漂う小舟にとっての揺るがぬ道しるべ北極星（Polaris　ポラリス）となれ」という建学の精神を掲げ、学生が自己の課題や他者と向き合いながら成長する過程と人間関係づくりを重んじ、人や地域との関わりを通して豊かな人間性を育むことを支援しています。

【保健師看護師統合カリキュラム】

４年間の単位取得で看護師・保健師の国家試験受験資格が得られます。保健師の知識（健康な生活への支援、地域社会の健康課題への対応、社会資源の提供･提案など）が「地域に根差した医療の提供」には必要不可欠です。

４年間の学習期間は、「社会人としての成熟」に必要な期間であると考えています。これまでに輩出してきた卒業生は1,765名となり、その中には病院に勤める看護師・保健師だけでなく、市町村の保健センターなどで地域の保健師として活躍している人も多く、卒業後も様々な交流を続けています。

【独自の教育内容をご紹介】

①「体験」を増やし社会とつながる
『２度の海外研修』
☆２年次に語学（英語）の単位としてホームステイ
☆４年次に発展途上国（環境保健、母子保健など）や先進国（緩和ケアや小児医療など）で医療研修

②学生自ら企画運営する
『自分を好きになる、自分を信じる強さが大きな成長へ』
☆音楽祭、体育祭、北極祭一般公開、宿泊研修
☆サークルで仲間づくり（チアダンス、韓流、スポーツ）
☆多学年合同行事、入学・卒業祝賀会
☆ボランティアで自己成長

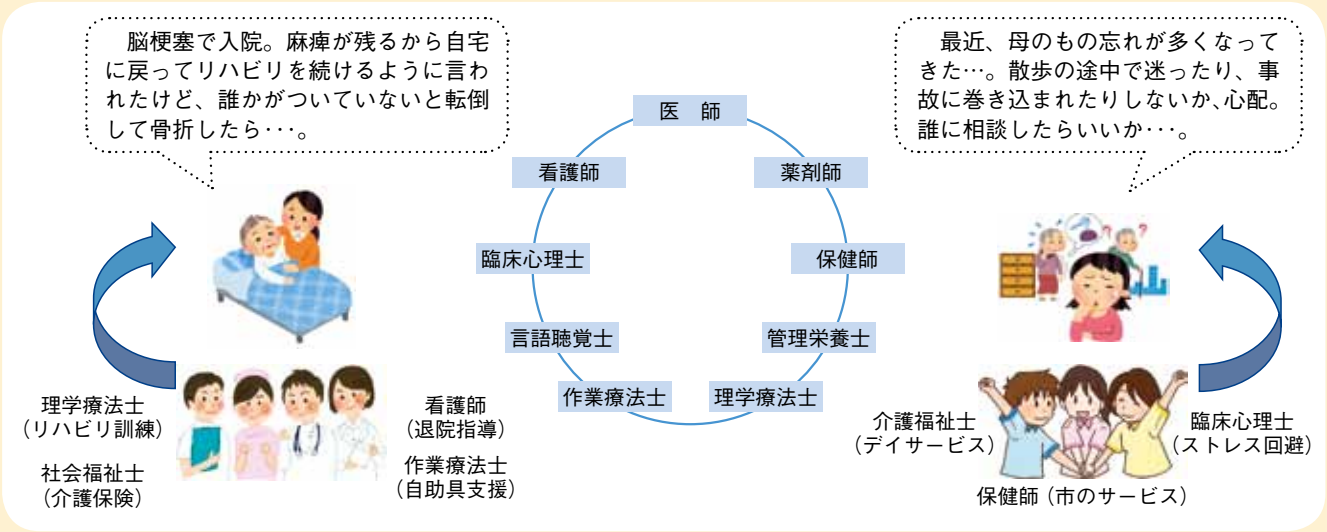
特集　ポラリス保健看護学院

【社会に必要な保健医療福祉の担い手】

10年後、福島県の15歳～19歳世代は現在の８割程度と予測されています。（福島県人口統計より）医療は今よりもさらに病院だけでなく在宅や地域の中で提供されるようになり、多種多様な医療福祉ケアの需要は増しているでしょう。そのとき、一人ひとりの生き方や生活を支えるための保健医療福祉の担い手が減少傾向であれば、それぞれの職種や機関が連携を強めるしかありません。限りある資源で温かな社会をつくるためにはバイタリティあふれるたくましい人材が一層求められるはずです。

現在の保健医療福祉の世界でも、１つの職種のみで行うケアサービスはほとんどありません。

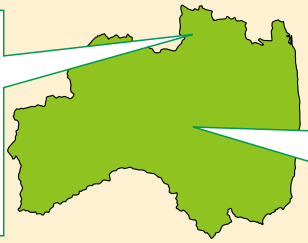
例えば･･･



多職種連携を強化してチーム医療を進めて行くためには、学生のうちからチーム医療がどんなものなのか学ぶ必要があると考え、保健医療福祉を担う様々な専門職種の教育機関に呼びかけて平成28年に福島県医療福祉関連教育施設協議会を立ち上げました。本学院は協議会の事務局として、より実践的な学びのために奮闘しています。

H27年12月
協議会設立のための会議

協議会会員校（県北地区）7校
福島学院大学・福島県立医科大学
桜の聖母短期大学
福島看護専門学校
大原看護専門学校
福島県立総合衛生学院
福島東稜高等学校



協議会会員校（県中地区）9校
奥羽大学・郡山女子大学・太田看護専門学校
国際医療看護福祉大学校・郡山健康科学専門学校
郡山看護専門学校・ポラリス保健看護学院
福島介護福祉専門学校・iキャリア医療福祉専門学校

【福島県医療福祉関連教育施設協議会主催研修会】～ネクストホープ研修～

平成28年度から始動、今年３年目となる合同の研修会は、会員各校から様々な専門職を目指す学生が３日間の研修に参加し、医療現場の見学・体験やグループワークなどを行います。講師は会員校の教員や星総合病院の専門職スタッフが務め、共に学びの機会を持つことで学校同士の連携も深めています。

プログラム内容の一部をご紹介
- 自己紹介、学校紹介
- 講義　「病院から在宅へ退院調整」H28
  「緩和ケア」H29
  「多剤併用の害」(+演習) H30
- 他職種連携見学
  「急性期･慢性期･終末期医療を受ける症例現場」H30
  「夜間救急外来見学」H28・H30
- 演習　「アロマテラピー」H29
  「自助具の作成」H30
- グループワーク
  「病院をつくろう」H30

病院食がとても美味しくイメージが変わりました。夕食はみんなで作ったカレーを自作の自助具で食べました。

夜間救急の見学が貴重でした。

職種の立場からの話が聞けて、普段の授業では得られない楽しいものでした。

郡山自然の家に宿泊。話す時間も増え、翌日のグループワークも盛り上がりました。

【星総合病院多職種連携教育研修】

昨年度法人の各施設に実習に来た学生は約1,000名。医師、薬剤師、看護師、理学療法士など学ぶ分野は様々です。通常、学校ごとにその専門職部署での実習を行い評価を受けて学校へ戻りますが、平成29年から同時期に実習に来た各職種の学生に合同の研修機会を作りました。事例（下図）の診療経過を説明し病院内を見学、その後、このケースが自宅に戻ってから、自分がやりたいことが実現できるよう退院支援方法をグループで考えました。

事例：高齢者の大腿骨頚部骨折患者が自宅退院できたケース

Aさんらしい生活を送るために
私達ができることを考えよう！

多職種学生で診療過程に沿った見学

参加学生の声

他職種の業務内容がわかり、かつ自分の職種には何ができるのか考えることができました。他の職種が望むことも相互理解することが大切だとわかりました。

多職種学生で退院支援グループワーク

多職種学生で経管栄養挿入演習

参加学生の声

チーム医療の薬剤師の役割を考え、関わるスタッフが共通した目標をたてる大事さに触れました。このようなことができる病院に勤めたい！と就職先を考える意思決定に結びつきました。

参加学生の声

１人の患者さんについてそれぞれの職種からのアプローチを考えることができました。職種の壁もなくなりました。

担当スタッフの声

私が学生の頃は、看護のことだけで精いっぱいでした。
学生のうちから他の職種のことを学べること・交流を深められることはとても幸せなことだと感じています。

星総合病院
研修担当看護師長　久保木

担当スタッフの声

当院で実習をされる皆さんが、一緒に同じ課題に沿って学ぶ機会を持つことはとても貴重だと考えています。チーム医療にはコミュニケーションが大切！まずは、互いを理解し合い、一つの目標に向かって一緒に考えていく過程を学んで頂きたいです。

星総合病院
法人教育研修センター課長　石原

担当スタッフの声

学生には病院についてはもちろんですが、病院と地域との連携の部分も見せたいと思っています。
薬学部の学生にとっても症例カンファレンスは大変勉強になります。

奥羽大学
薬学部医療薬学　学生部長　早坂先生

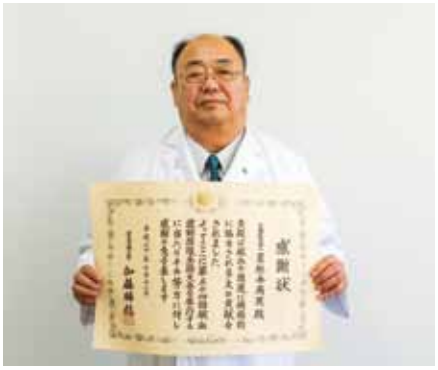
学生のうちから「自分がチームの一員として専門性を活かして役割を果たす」ということを実践的に学ぶことは、自分で「感じ・考え・動く」ことができる視野の広い医療・保健・福祉人を育てることに繋がるという手ごたえを感じています。

感謝状をいただきました

献血運動推進への多大な協力と功績が認められ、第54回献血運動推進全国大会において星総合病院が厚生労働大臣感謝状をいただきました。

厚生労働大臣表彰状（福島県）　3団体
厚生労働大臣感謝状（福島県）　8団体

星総合病院では年2回献血バス会場としての協力を続け、職員や病院利用の方が献血を行っています。今後も皆様のご協力をお願いします。



星総合病院　野水病院長

法人のホームページをリニューアルしました

星総合病院、星ヶ丘病院、三春病院など、法人各施設のホームページデザインをリニューアル！写真などを増やし、より分かりやすいものを目指しました。
ぜひ、ご覧ください！

http://www.hoshipital.jp

町立三春病院　医療機器が新しくなりました

より質の高い医療提供を続けて行くため、町立三春病院では昨年の春から様々な医療機器を新しくしています。

病棟

ベッドがリモコン操作で昇降できるようになり、L字柵は起き上がりや車椅子への移動に便利！使いやすく安全で患者さんにも好評です。

外来部門

眼科

音も静かになり、リラックスして検査を受けられます！

耳鼻咽喉科

機器の性能が上がり、より細部まで観察できるようになりました！

検査科

心電計や超音波診断装置、尿や血液などの検体を分析する機器も新しくなり、効率的に検査を行えるようになりました！

放射線科

一般X線撮影・乳房X線・骨密度測定・ポータブルX線撮影などの装置が一新。低被ばく構造になり、より安心して検査を受けられるようになりました！

地域のよりよい医療提供のために、これからもがんばります！

星総合病院

緩和ケア通信

懸虹第２号

今年の「ホスピス緩和ケア週間」は10/7～10/13

全国各地で様々なイベントが開催されます。
当院では、緩和ケア病棟を開設した2013年以前から「緩和ケア」を知って頂くための取り組みにも力を入れてきました。

「緩和ケア」啓発活動

≪市民公開講座≫　2013年～

第１回　「緩和ケアって何？」
第２回　「緩和ケアって何？その2」
第３回　「終活を考える～最期を迎える場所をめぐって～」
第４回　「緩和ケアと在宅医療」
第５回　「知っててよかった緩和ケア」

緩和ケアって？

緩和ケアとは、重い病を抱える患者さんやそのご家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるように支えて行くケアのことです。

毎年緩和ケア週間にはミニ講座や掲示を行っています

≪医療従事者向け研修会≫　2012年～

第１回　「緩和ケアについて」
第２回　「新しい癌疼痛治療剤/ホスピス20年を振り返る」
第３回　「遺族ケアを考える」
第４回　「緩和ケアにおけるリハビリテーションの役割」
第５回　「緩和ケアの質の評価と他職種連携」

“自分の人生をより良く生きる”ためにとても重要な「緩和ケア」の意識は医療の世界でもまだまだ普及が必要です。どこでも誰でも必要な「緩和ケア」がいつでも受けられるように、これからも活動を続けていきます。

お問い合わせ
星総合病院地域連携課
TEL：024-983-5512

今年度は、医療従事者向けの研修会を開催！

2018年　医療従事者向け「緩和ケアPEACEプロジェクト研修」

適切な緩和ケアがいつでもどこでも受けられるように、全ての医療従事者にむけた「がん診療等に携わる緩和ケア研修会を開催します。

当法人ホームページトップに案内がございますので10月26日までにお申し込みください。

※事前学習(e-learning)が必要となりますのでご注意ください。

お申し込み・お問合せ
公益財団法人星総合病院　教育研修センター
石原・遠藤
TEL：024-983-5524
E-mail：a.endo@hoshipital.jp

夏休み体験レポート

8/1 星総合病院 キッズツアー 1日特命ドクター体験

医師より特命を受け、1日ドクターとして色々なお仕事を体験。

手術室では電気メスで執刀！

聴診器で肺の音を確認

調剤室ではお薬の調合♪

あぐりキッズツアー開催！

7/21 inあかがわ 熱血キュウリ農家体験！

「設楽農園」さんで収穫体験♪須賀川名物「かっぱ麺」にキュウリを山盛りトッピング！

7/28 inこおりやま 農業体験とクッキング！

ほしくまファームのハウスで収穫した採れたて野菜を使ってみんなでクッキング♪

8/4 inかつらお 名物を味わう農業体験

名産の「じゅうねん」の摘芯作業と蕎麦の種蒔きを体験♪ランチは大盛り「石井食堂」さんの名物チャーハン！

「じゅうねん味噌」を凍み餅に塗ってパクリ！

じゅうねんの葉きれいだね！

7/25、7/31 福島県看護協会主催 1日看護体験

1回目は12校30名、2回目は9校25名の高校生が参加し、各病棟で患者さんへのケアを学び、シミュレーターを用いての呼吸聴取や心肺蘇生法など様々な体験をしていただきました。医療についての興味がますます高まった様子でした。

8/4 福島県主催 高校生職場体験

県内の高校のうち14校から21名の希望がありました。それぞれ希望の職種について熱心に見学していました。

8/7 星総合病院主催 高校生職場体験

12の各専門職種見学やブースでの体験などを通して「進路を決めるにあたって視野が広がった」「良い刺激を受けた」などうれしい感想をいただきました。

7/21～8/25 ほしくま児童クラブ（大町キッズベース内）

職員の子供と地域の子供たちの学童保育「ほしくま児童クラブ」。法人の設備を活かした体験や学習、美術館・博物館や公園などいろいろな経験をしました。1ヶ月の間にも子ども達の成長が感じられた夏でした♪

連携医のご紹介

池田内科医院

●所 在 地　〒963-0111　郡山市安積町荒井字下北井前43－5
　　ＴＥＬ．024-946-3251
●診療時間　【月～土】9：00～12：30・14：00～18：00
　　【　木　】9：00～12：30　17：00～18：30
　　【月～土】15：30～17：00往診
　　【　木　】往診なし
●休 診 日　日曜・祝日
●開 設 者　池　田　良　彦
●診療科目　内科・循環器科・小児科

池田良彦病院長にお話を伺いました。

40周年おめでとうございます。

34歳で開業して40年、約４万人の患者さん達の健康に関わってきました。（もっと多いと思っていました。）あの東日本大震災の時は、星総合病院から退院された方の診療もしました。地域医療の原点は「とにかく診る」ということです。患者さんの困りごとに対応することが使命です。専門の先生の力が必要と判断した時は病院に紹介しますし、自分の医院で対応できる時は入院してもらいます。40年前でしたが病室に酸素や吸引の設備は整えてありました。
（取材中、昔の在宅酸素はすごく重い大きなボンベを使用していた話で盛り上がりました。）

多趣味な先生の、一日の過ごし方をお教えください。

朝、４時～５時に起きて山に歩きに行きます。（キノコや山菜も採られるのかな？）そのあと戻って朝食を済ませて午前中の外来診療に出ます。入院中の患者さんを診察して午後は外来と往診に行きます。夕方はいろいろな用事（会議？趣味の集まり？）を済ませたり、必要があれば時間外でも外来診察もします。休日は患者さんからの情報を参考にして新たな山に挑戦したり、ゴルフをしたり、囲碁（会長職）をしたり、家の草むしりや草花の手入れもします。囲碁も山も迷うのが得意です。

これからのお仕事についてお聞かせください。

若い時は時間があるからゆっくり生きていいんです。年を取ったら時間がないので急いで生きなければなりません。仕事もキノコ（栽培もされている）も山菜取りも今まで通りです。家でじっとしていることはありません。開業に力を貸してくださった前理事長やお世話になっている先生方、一緒に仕事をしてくれるスタッフ、遊びの仲間、碁会所（クリニックの待合室？）の人々、人が集まればそこに色々な意味が生まれます。これからも同じです。

編集後記

池田院長は外来直後のお疲れのところ時間を割いてくださいました。穏やかな語り口で地域医療を語られ、またキノコの話もたっぷり聞かせていただきました。先生を慕う患者さんが途切れない外来、自然でやさしい人柄「昭和・平成の赤ひげ」が私の印象でした。池田医院の紹介サイトに書かれた先生の言葉をご紹介いたします。

「24時間対応の在宅医療、病診連携にもっとも適したシステムであり、在宅医療、介護と病院を結ぶ懸け橋として、多くの先生方、職員の協力を得て出来るだけ長く続けて行きたい。」

（公益財団法人星総合病院　法人広報部　佐藤　美重）

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
http://www.hoshipital.jp
発　行／ 公益財団法人星総合病院
編　集／ 法人広報部
発行日／ 平成30年10月
住　所／ 〒963-8501
　　郡山市向河原町159番1号

公益財団法人 星総合病院

●星総合病院
〒963-8501　福島県向河原町159番1号
TEL　024-983-5511㈹

●星ヶ丘病院
〒963-0211　福島県郡山市片平町字北三天7
TEL　024-952-6411㈹

●三春町立三春病院(指定管理)
〒963-7752　福島県田村郡三春町字六升蒔50番地
TEL　0247-62-3131㈹

●ほし横塚クリニック
〒963-8803　福島県郡山市横塚2丁目20番36号
TEL　024-956-7778

●星訪問看護ステーション
〒963-8803　福島県郡山市横塚2丁目20番36号
（ほし横塚クリニック内）
TEL　024-956-2322

・サテライト星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL　024-962-1711

・サテライトしずか
〒963-0209　福島県郡山市御前南5丁目18番地
ウエストパークB棟102号
TEL　024-983-6410

・サテライト三春(三春病院内)
TEL　0247-73-8270

●介護老人保健施設オリオン
〒963-0211　福島県郡山市片平町字峯三天2
TEL　024-952-6413

●芳賀・小原田地域包括支援センター
〒963-8822　福島県郡山市昭和2丁目21-3
ダイヤソニックビル1階
TEL　024-941-1121

●星総合病院在宅介護支援センター
(ほし横塚クリニック内)
TEL　024-983-5515

●居宅介護支援事業所星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL　024-952-6414

●養護老人ホーム三春町敬老園(指定管理)
〒963-7752　福島県田村郡三春町字六升蒔50番地の1
TEL　0247-62-3618

●ボラリス保健看護学院
〒963-8801　福島県郡山市向河原町159番7号
TEL　024-983-5010

●公益財団法人星総合病院　大町キッズベース
〒963-8001　郡山市大町2丁目3-26
TEL　024-953-5401

●ほしのこ保育園
〒963-8501　福島県向河原町159番1号
TEL　024-983-5519

●星ヶ丘保育園
〒963-0211　福島県郡山市片平町字北三天7-3
TEL　024-951-0788

●三春町第1保育所(指定管理)
〒963-7769　福島県田村郡三春町担橋1丁目4番地の1
TEL　0247-62-3839